

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	利用者の家族がなかなか面会に来れないため施設内でどのような生活をしているのかが分かりにくい。	利用者が施設内でどのように過ごしているかが家族に伝わるように、面会時だけでなく施設の方からお便りとして情報を発信していく。	家族へ請求書を送付する際に各利用者様の様子を写真やコメントをお便りにして一緒に同封するようにする。	1ヶ月
2	2 49	外出する機会が少ないために地域との交流があまり行えていない。	できる限り利用者が地域(近所)に外出して地域の方々との交流ができるように支援していく。また、地域の方々やボランティアの方々の受け入れも積極的にしていく。	地域でのイベント(敬老会・町内会行事)への参加や近所への散歩や買い物、施設にある庭へ出ること等を支援し、地域の方々との交流を行っていく。また定期的に地域のボランティアの受け入れを行っていく。(隔月)	12ヶ月
3		食事前の口腔嚥下体操が実施されていない。	食事前に口腔体操を実施することにより嚥下状態を良くし、誤嚥性肺炎を予防し、ムセリやつまりなどの事故を予防する。	職員に研修等で口腔嚥下体操の大切さを教え、必要性を理解した上で、食事前に職員と一緒に声を出したり、歌を歌ったり等の口腔体操等を実施する。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。